

東近江産の木材を使用した玩具や遊具による木育イベント「おいてく木育」「木育ミニパーク」を各地で実施し、子ども達をはじめ多くの人々が木に慣れ親しみ、森林や自然環境の大切さを学ぶ機会を提供します。東近江市産の木の良さを広くアピールすることで、地元産木材の利用を促進していきます。

6月5日(日)に、琵琶湖博物館の全国植樹祭サテライト会場にて、木育ミニパーク、親子木工教室が実施されました。たくさんの家族が訪れ、木育ミニパークはのべ140名、木工教室は49名の子どもたちが参加しました。1点1点、すべて東近江産の木材を使用し、職人さんが心をこめて作られた遊具たち。木のぬくもりを感じられるのはもちろんのことですが、自分で作ったり、組み替えたり、動かしたりと、遊び方の自由度も高く、子どもたちは夢中で遊んでいました。



びわこ市民活動応援基金 A

うしかい田んぼアート実行委員会

採択事業は、「うしかい田んぼアート実行委員会」です。信楽高原鐵道は、沿線住民からの強い要望と甲賀市等の支援により存続してきましたが、現状もお収支が厳しい状況下にあります。この事業では、田んぼアートを通じて信楽高原鐵道の利用者を増やし、地域を支える鐵道を応援するとともに、地域との協働・連携により地域の活性化を図ります。また、田植えや稲刈り体験を通じて、農地を耕し、種を播き、苗を育て、水管理などの世話をし、実りを収穫することの喜びと食料の大切さを学ぶ機会を提供します。

6月12日(日)に、「うしかい田んぼアート田植え体験」が実施されました。甲賀市職員、JA職員、滋賀県立甲南高校の生徒、一般申込者など250名が参加し、子どもたちは泥まみれになって田植え体験を楽しみました。

「うしかい田んぼアート」の見頃は、稲が伸びた7月下旬～8月中旬頃。今年の夏は、ぜひ信楽高原鐵道に乗って、壮大なアートをじっくり楽しんでください!! 秋には稲刈り体験も実施する予定です。



未来ファンドおうみ通信

No. 28

2022年7月1日発行
淡海ネットワークセンター

“想いを基金”に その基金をもとに“地域課題の解決”

ー 未来ファンドおうみ助成事業 2022 年度
助成先団体の活動がはじまりました ー

【2022 年度の助成決定の事業数】

① びわこ市民活動応援基金 A 助成	3 事業	(700,000 円)
・ びわこ市民活動応援基金 B 助成	採択なし	
・ びわこ市民活動応援基金 C 助成	1 事業	(100,000 円)
② びわ湖の日基金助成	2 事業	(600,000 円)
③ 積水化成品基金助成	1 事業	(200,000 円)
④ 笑顔あふれるコープしが基金助成	3 事業	(300,000 円)
⑤ ナカザワNEOフレンドシップ基金助成	1 事業	(100,000 円)
⑥ げんさん食育NPO基金助成	2 事業	(191,000 円)
⑦ 湖国文学活動応援むらさき基金助成	採択なし	
⑧ びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金助成①	1 事業	(100,000 円)
・ びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金助成②	1 事業	(300,000 円)
合計	15 事業	(2,591,000 円)



採択団体名・事業名一覧はこちらの
QRコードからご覧ください。

助成金を有効に使って、地域がさらに良くなる活動を展開して下さることに期待いたします。

お問い合わせ先 淡海ネットワークセンター（公益財団法人 淡海文化振興財団）

〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20（ピアザ淡海 2F）
TEL：077-524-8440、FAX：077-524-8442
E-mail: office@ohmi-net.com <https://www.ohmi-net.com/>



2022年度 助成団体の活動

びわこ市民活動応援基金 A

ぼてじゃこトラスト

採択事業は、「ぼてじゃこワンパク塾、自主企画で『居心地の良い、居場所づくり』を盛り上げよう」です。

ぼてじゃこワンパク塾では、子どもたちに川遊びや雑魚捕りを体験してもらい、川遊びや雑魚捕りを滋賀県の伝統文化として継承してほしいとの思いのもと、親子で学ぶ自然体験教室「ぼてじゃこワンパク塾」を実施しています。今年度は、通常の活動に加え、「ワンパク頑張り隊」の自主企画として、幼児読み聞かせ教室、ミニ生き物講座、流木工作、大津絵教室、親世代のおしゃべり交流会、ナイトトラップなどを開催します。

6月5日（日）に、ウォーターステーション琵琶にて、「らくらく大津絵体験教室」が開催されました。参加者は子ども11名、大人13人と大盛況でした。はじめに、講師の佐藤実真先生（アトリエ青海波代表）から大津絵の歴史など大津絵にまつわるお話があり、そのあとはさっそく大津絵「ひょうたんなまず」にチャレンジ！大津絵は描き順と色が独特で、先生に教わりながら子どもも大人も夢中で描きました。大津絵で滋賀県の伝承文化をじっくり体感したあとは、ナマズのミニ講座があり、ナマズの生態について学びました。



【ホームページのQRコード】



笑顔あふれるコープしが基金

草津おみやげラボ

採択事業は、「あなたの発見が紡ぐまちのお宝発掘！デジタル活用でまちづくり」です。

草津市駅前エリアは県外からの移住者も多く、地域への愛着や誇りを持たない人が増えています。この事業では、滋賀県産木材のワークショップ、草津焼体験、水鳥観察、農業体験などの体験イベントを実施し、地域住民に知見を広げる機会を提供します。また、web地図アプリの入力や紙ベースでのすごろく＆カードゲームの作成を行います。デジタルを活用しながらヒト・モノ・コトの交流を行い、楽しみながら地域への愛着や誇りを持つ心と、安心して暮らせるつながりを作ります。

【ホームページのQRコード】



6月12日（日）、草津市のロクハ公園にて、「ロクハなぞときゲーム」が開催され、親子9組、12人の子供たちが参加しました。LINEアプリを使い、ロクハ荘やロクハ公園を散策しながら、「なぞ」を1つずつ解いていく謎解きゲームです。子供たちは、なぞを解きながら、ロクハ公園の散策を楽しみました。また、公園で見つけたものをWEBマップに入力したり、自分で新たなクイズを考えたりと、公園の魅力を発信しました。



げんさん食育NPO基金

一般社団法人 スマイルコム

採択事業は、「障がいをもつ子ども・若者のためのクッキング活動および外食支援」です。障がいをもつお子さんがいる家庭では、子育てに関し様々な悩みを抱えており、多面的な支援の必要性が高まっています。この事業では、発達障がい・

知的障がいなどの障がいをもつ子ども・若者を対象に、実体験活動（食育活動）を実施します。具体的には、食材の買出し体験、調理体験、外食体験などを行います。これらの体験を通じて、障がいのある方の自立・成長につなげるとともに、自信や自己肯定感を育みます。

4月24日（日）に、げんさん堅田店にて買出し体験を行い、日中一時支援事業所「ベスティ」の子ども・若者5名が参加しました。買出し体験のあとは、元三フード株式会社の谷口社長と懇談し、「自分の好きなこと、関心のあることに一生懸命取り組んでほしい」とメッセージをいただきました。



【ホームページのQRコード】



びわ湖源流の木遣い応援もえぎ基金

東近江市あらゆる場面で木を使う推進協議会

採択事業は、「100年の森づくりビジョン 東近江市・あらゆる場面で木を使うプロジェクト」です。近年、生活様式や価値観の変化によって地元産の木材は利用されず、森林の荒廃はすすみ、森林が本来持っている公益的機能は失われつつあります。この事業では、

【ホームページのQRコード】

